

ニュース、写真、催し案内などのご連絡は下記へ
 赤旗東京総局 03(3370)8325、ファクス(3370)8326
 日本共産党東京都委員会 03(3370)0311(代)

東京五輪計画の主な見直し内容

	開催概要計画書(昨年6月)	見直し案
メインスタジアム(中央区晴海)	国立施設	都立施設
サッカー会場(全7カ所)	カシマスタジアム	国立競技場
水泳会場	東京ビッグサイト	辰巳の森海浜公園
トライアスロン会場	浜離宮	お台場海浜公園
セーリング会場	江の島ヨットハーバー	若洲海浜公園
バレーボール会場	駒沢公園屋内球技場	代々木公園(体育館新設)
会場へのアクセス	地下鉄新設を検討	大江戸線勝どき駅改修バスで代用

「コンパクト」どころか

378億円 施設整備費が増

五輪委が計画見直し

東京オリンピック招致委員会(会長・石原慎太郎都知事)は六日、東京招致を計画している二〇一六年五輪について、競技会場の配置や整備費などを見直した「開催基本計画」を決めました。都は昨年六月策定の開催概要計画書で、「世界一コンパクトな大会」を実現するとしてきましたが、

今回の見直しで施設整備費が逆に三百七十八億円増えていきます。

競技会場の配置について、馬術、サッカー、水泳、射撃、セーリング、バレーボール、ビーチバレーの七競技を、開催概要計画書から変更。

このなかでトライアスロンは、都民や競技団体が、日本共産党が「海水が汚染され、競技会場にはふさわしくない」と指摘してきた当初の浜離宮から、お台場海浜公園に変更。水泳は「仮設プールで開くことは不可能だ」との批判を受けていた東京ビッグサイトを、辰巳の森海浜公園に移しました。

駒沢オリンピック公園内の球技場で行う計画だ

また、同体育館やメインスタジアム(中央区晴海)など五施設を新設、ユースプラザ(江東区夢の島公園)の東京スポーツ文化館など二施設を改築します。

これによって、競技施設の整備費は開催概要計画書の策定当時の二千八百七十一億円から、三千二百四十九億円にふくれあがる見通しです。このうち都負担分は「今後、国と協議していく」(都オリンピック招致本部)として、明らかにしていません。

メインスタジアムは国立施設とすることに

反対し、都立施設に変わるため、都負担が大幅に増えることも予想されています。

メインスタジアムへのアクセスについては、当初検討していた地下鉄の新設を断念し、直線

東京オリンピック招致委員会であいさつする石原知事



で約一キロも離れている都営大江戸線勝どき駅を最短の駅とし、同駅ホームの改

修や、バスの運行で代行する計画。三方が海に囲まれ、震災時の避難路が確保できない問題については、橋の架設などで対応する考えを示しました。

計画の詳細を都民に明かせ

日本共産党都議団の曾根はじめ政策調査委員長の話

わが党はもとより、石原都知事の主導する五輪招致が、都民合意もなく、五輪をここにしたいインフラ整備もあわせれば八兆五千億円もの無駄な投資を行うものだと、招致を断念するよう求めてきました。

今回、水泳やトライアスロン会場の変更など五輪招致計画を見直したことは、わが党が指摘してきた開催計画のずさんさを裏付けるものです。

施設整備費がさらにふくらむこと、メインスタジアム予定地などの液状化対策はないうえ、アクセスは輸送力が小さいバス便で間に合わせるなど、新たな問題点も指摘せざるを得ません。

今回の決定でも、競技施設の具体的な設置場所など詳細を明らかにしようとしていません。都は、招致に向けた世論調査を十一月に実施するとしていますが、それ以前に計画の詳細を都民に明らかにすべきです。